

厚生労働行政推進調査事業費補助金（難治性疾患政策研究事業）
 分担研究報告書
 研究課題：プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究

東北地方におけるプリオン病のサーベイランス状況

研究分担者：青木正志 東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学講座 神経内科学分野
 研究協力者：加藤昌昭 総合南東北病院 脳神経内科

研究要旨

【目的】東北地方におけるプリオン病の疫学、臨床症状等を調査し、解析する。

【方法】2021年度（令和3年度）における東北地方在住で新規申請されたプリオン病疑い患者についてのサーベイランスを行った。主治医へ電話あるいは電子メールによる確認と共に、必要に応じて宮城県の症例については実地調査を行った。その他の県の症例についてはその県の専門医に依頼し調査を行った。

【結果】プリオン病疑いとして調査依頼をうけた症例は、2021年度の1年間で23例であった。内訳としては、青森県6例、岩手県4例、宮城県4例、秋田県4例、福島県3例、山形県2例であった。獲得性クロイツフェルト・ヤコブ病0例、遺伝性プリオン病の症例は3例であった。本年度剖検数は0例であった。

【結語】東北地方におけるプリオン病のサーベイランス状況を報告した。今後も継続的に調査を行うことが必要であると考えます。

A. 研究目的

東北6県におけるプリオン病の疫学、臨床症状等を調査し、解析する。

は0例であった。

B. 研究方法

2021年度（令和3年度）における東北地方在住で新規申請されたプリオン病疑い患者についてのサーベイランスを行った。主治医へ電話あるいは電子メールによる確認と共に、必要に応じて宮城県の症例については実地調査を行った。その他の県の症例についてはその県の専門医に依頼し調査を行った。

（倫理面への配慮）

患者個人情報取り扱いに関しては匿名化を行い、患者、家族にサーベイランスに協力いただくことに関して書面にて同意を取得した。

C. 研究結果

プリオン病疑いとして調査依頼をうけた症例は、2021年度の1年間で23例であった。内訳としては、青森県6例、岩手県4例、宮城県4例、秋田県4例、福島県3例、山形県2例であった。獲得性クロイツフェルト・ヤコブ病0例、遺伝性プリオン病の症例は3例であった。本年度剖検数

**令和3年度 東北地方
プリオン病疑い症例数**



- 青森 6 例
- 岩手 4 例
- 秋田 4 例
- 宮城 4 例
- 山形 2 例
- 福島 3 例
- 計 23 例

平均年齢は75.6歳、男性8例、女性15例であった。プリオン病を否定できた症例は6例となった。

令和3年度調査症例

No.	サーベイランスNo	県	性別	年齢	診断
1	7727	福島	女	85	sCJD
2	7733	宮城	男	71	否定
3	7737	秋田	女	78	sCJD
4	7754	秋田	男	75	sCJD
5	7763	山形	女	57	否定
6	7764	青森	女	70	V180I
7	7835	秋田	女	84	sCJD
8	7836	秋田	女	90	V180I
9	7915	宮城	女	75	否定
10	7940	福島	女	72	V180I
11	7997	宮城	女	66	sCJD
12	8002	福島	女	81	sCJD
13	8013	岩手	女	89	sCJD
14	8014	青森	女	71	sCJD
15	8021	宮城	女	82	sCJD
16	8027	青森	男	78	sCJD
17	8052	岩手	女	74	sCJD
18	8070	青森	男	78	否定
19	8103	岩手	男	77	否定
20	8169	青森	男	66	否定
21	8184	青森	男	69	sCJD
22	8190	岩手	男	70	sCJD
23	8265	山形	女	80	sCJD

計 23例
 平均年齢 75.6歳
 男性8 女性15
 孤発性プリオン病 14例
 否定例 6例
 遺伝性プリオン病 3例

遺伝子変異を伴うプリオン病症例は今年度は 3 例を見いだすことができた。他は孤発性のプリオン病であった。

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

令和3年度東北地方(6県)総計

	孤発性CJD	遺伝性プリオン病	獲得性プリオン病	分類不能	CJD否定
例数(n)	14	3	0	0	6
例数(n)	22	2	0	0	1
例数(n)	17	0	0	0	6
例数(n)	22	0	0	0	2
例数(n)	28	2	0	0	5
例数(n)	17	1	0	0	2
例数(n)	29	5	0	0	13
例数(n)	21	1	0	0	1
例数(n)	20	6	0	0	8
例数(n)	11	0	0	0	5
例数(n)	14	1	0	0	1
例数(n)	216	21	0	0	60



D. 考察

プリオン病発症率は東北 6 県人口約 1,000 万人とすると、年間発症率は約 0.25 人/10 万人/年であり、おおむねこれまでと同様の発症率であった。

E. 結論

東北地方におけるプリオン病のサーベイランス状況を報告した。今後も継続的に調査を行うことが必要であると考えます。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし